

小さな群れ

カトリック美唄教会

2021年10月 No.293

2021年9月26日発行

主任司祭 ナルチゾ神父

2日 守護の天使

カトリック教会は、昔から聖書に基づいて、神は天使を造られ、一人ひとりを守っていると信じてきました。「あなたには災難もふりかかることがなく天幕には疫病も触れることがない。主はあなたのために、御使いに命じてあなたの道のどこにおいても守らせてくださる。彼らはあなたをその手にのせて運び、足が石に当たらないように守る。」（詩編 91. 10-12）など、聖書に守護の天使のことが記されています。



また、それぞれの人に**守護の天使**がいるということは、イエスの教えの中にも見られます。「これらの小さな者を一人でも軽んじないように気をつけなさい。言っておくが、彼らの天使たちは天でいつもわたしの天の父の御顔を仰いでいるのである」（マタイ 18. 10）。

また、天使はイエスがゲッセマネの園で苦しまれたときに、イエスを力づけた（ルカ 22. 43）。このように天使を人間の保護者にしたことは、神の愛のしるしといえます。

10月4日 アッシシの聖フランシスコ



フランシスコはよりいっそうキリストの言葉に従い、同志を集め、清貧と愛の生活を続けて多くの人びとを感化し、当時の乱れた教会を改善していった。その後ローマに行き、教皇インノチェンツィオ3世から許可を得て、1209年に「小さき兄弟会」、後の「フランシスコ会」を創立しました。

すべての被造物をとおして与えられる神の恵みを悟ったフランシスコは、神に感謝と賛美をささげて『太陽の賛歌』を作りました。彼の物語は、『小さい花』という本に伝えられている。また、彼はクリスマスの夜に馬小屋を飾って祝った最初の人であり、その習慣を広めました。（Laudate）

2021年10月 主日ミサ・平日のミサ 予定

美唄教会 小さな群れ
2021年10月 No.293
2021年9月29日発行

10月ロザリオの祈を10時半より致します。

日	曜	ミサ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時間		
1	金		午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	聖テレジア (幼いイエスの)
3	日	年間第27主日	午後 1:30	聖堂にて (カトリック大会)	
8	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
10	日	年間第28主日	午前 11:00		ミサ後運営委員会 秋の大掃除
15	金		午前 10:30	ミサ後 聖書に親しむ	聖テレジア (イエスの)
17	日	年間第29主日	午前 11:00		
20	水		午後 6:00	ロザリオの祈り	
22	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
24	日	年間第30主日	午前 11:00		世界宣教の日
29	金		午前 10:30	ミサ後聖書に親しむ	
31	日	年間第31主日	午前 11:00		

《 平日のミサ 》 金曜日のみ 午前 10:30 1・8・15・22・29日です
《 聖書を親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。

霊名の祝日 (敬省略)		清掃当番	花 当番
1日 幼き聖テレジア	蓮井 愛・吉村 知江子	第2週 東 ウケッドウ 恵美 第4週 船野	大城
4日 マリアフランシスカ	東 小夕希・米通 佑大・小西 優		
4日 アシジフランシスコ	吉田 淳一・船野 奨		
24日 ラファエラ	小川 亜沙子		

愛に就いて

ヨゼフ 小山 政男

私の妻への手紙を読んでもみたいと若い看護師さん達から聞いたので私が89年間生きて来て見聞きし、体験した愛に就いての受け売りのような事を書いてみます。自身があつての事ではありません。

愛するとは一言で訳すと大切にすることだそうです。昔も現代でも当てはまりますね。好きな人との関係はどうでしょう。勿論大切にしますよね。ペットや嗜好品でもそうですね。好きなら大切にします。

私と妻との間には子供は生まれませんでした。妻は10代の頃に結核性の腹膜炎を患ったそうですから私は結婚する前から知っていました。それでも妻は想像妊娠なった程、私との間の子供が欲しかったのです。私は子供が出来ない代わりに分まで妻を幸せにしようと思いました。私も結核の回復者で弱い体でした。七飯の療養所を退所する前の日に所長さんから「結核は治ったと思つては駄目で、無理をすれば再発するから決して無理をしないように」と話して下さいました。当時と現在では治療法も薬も改良されましたが、昭和30年代では生活のために無理をして再発したり亡くなった若い人達が大勢いたのです。私も再発を恐れながら私の母を89歳まで妻と扶養し、妻は専業主婦で、母の介護を引き受けてくれ、私達が建てた家の部屋で安らかな臨終を迎えさせる事が出来ました。そのあと妻は43歳になっていましたが自分も看護の仕事をしたいので岩見沢の準看護学校に進学させてほしいと言いました。妻も結核の回復者であり今から資格を取って看護の仕事に就けるだろうかと迷いました。

妻は専業主婦で就職した事がなく、勉強するのは好きでしたが当時の岩見沢の準看護学校は受験して合格すると岩見沢の医師会で運営されていたので岩見沢の医師会に所属する医院に昼間は医療の助手をし、夜間は学校で学び卒業して資格を取得した人は通学させてくれた医院に2年間勤務することが条件としてありました。

学校では妻が43歳でも試験に合格すれば入学を許可するとの事。私が若して早く死んで時には一人で生きてゆける資格を取っておいたほうが良いだろうと思い妻の熱意にも負け進学を許しました。

幸いなことに岩見沢駅に近い入院患者さんを置かない、先生がお一人の医院に住み込みで就職させて頂きました。美唄に帰宅するのは土、日と祝祭日だけでしたから、私も協力したことになるでしょう。

2年間学ばせていただき資格を取得し、その後の2年間の就業も果たし、妻は美唄の花田医院に就職し。私も採用して下さいました。19床しか入院出来ない医院を120床の病院を新築、その手続きや下請けの業者の選定なども殆どを私が担い、開院の予定の日に開院出来ました。妻も私も残業も当直もない勤め先でしたから二人とも結核の再発もなく65歳まで務めさせて頂きました。

病院の完成で美唄市内はもちろん近郊の方々からも利用され「今夜から安心して眠れます」と感謝の言葉を頂きました。

横道に逸れました。若い方たちは愛し合うことで花を咲かせ実もなるでしょう。お互いに惜しむことなく愛し合い大切に思い大切にすることです。良い人に出会って楽しい家庭を作って下さい。愛していると言って居ながら互いに粗末にしているは幸せにはなれません。

人は愛することによって自分も幸せになれます